

参加申込みについて

申込方法

別紙の参加申込書に必要事項を御記入の上、郵送又はFAXでお申し込みください。
(※全体会・前半・後半のみの参加も可能です。)

参加において、手話通訳・車いす等の配慮を必要とされる場合は、申込書の備考欄にその旨をお書きください。

申込締切：平成30年5月15日(火)

申込先

奈良県立教育研究所 研究開発部 教科教育係
郵 送：〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
FAX：0744-33-8909

問合せ先

奈良県立教育研究所 研究開発部 教科教育係
TEL：0744-33-8903

会場への案内

近鉄橿原線 笠縫駅から南西へ約0.6km
なるべく公共交通機関を御利用ください。



- ・近鉄大和西大寺駅から笠縫駅まで約25分
- ・近鉄大和八木駅から笠縫駅まで約5分
- * 笠縫駅には急行は停車しません。



平成30年度 奈良県立教育研究所 教育セミナー2018

「学びをつなぐ」
～「主体的・対話的で深い学び」の実現～



- 日時** 平成30年5月25日(金)
13:00～16:45(受付12:30～)
- 場所** 奈良県立教育研究所
- 対象** 教育関係者及び教育に関心のある方

- ◆ 日程、内容等に変更があった場合は、奈良県立教育研究所のWebサイトにてお知らせします。
- ◆ 当日の午前11時現在、県内いずれかの地域で気象警報が発令されている場合は、中止とする場合がありますので、参加の前にWebサイトを御確認ください。

奈良県立教育研究所 Webサイト <http://www.nps.ed.jp/nara-c/>



	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
受付		13:00～14:30 開会式・全体会	館内見学	15:00～15:45 研究発表1	休憩・移動	16:00～16:45 研究発表2
パネル等の展示(研究成果及び各種紹介パネル)						

● 開会式・全体会

● 館内見学

● 研究発表 1

● 研究発表 2

13:00～14:30
(受付 12:30～)

14:30～15:00

15:00～15:45

16:00～16:45

1 **基調講演**

「深い学び」を
実現する授業と評価

ディア・ティーチャー
・プログラム受講生
(教員志望の学生)に
よる発表やパネルの展
示等を開催していま
す。
御自由に御覧ください。



京都大学大学院
教育学研究科 准教授
石井 英真 氏

②	プロジェクト研究Ⅰ	幼小接続
③	プロジェクト研究Ⅱ	言語活動の充実1【小学校国語】
④	プロジェクト研究Ⅱ	言語活動の充実2【小学校外国語活動】
⑤	プロジェクト研究Ⅱ	言語活動の充実3【高等学校地理歴史】
⑥	プロジェクト研究Ⅱ	理数教育1【中学校理科】
⑨	プロジェクト研究Ⅲ	教育相談 前半
⑩	プロジェクト研究Ⅳ	特別支援教育 前半
⑫	個人研究	教材・教具【高等学校探究科学(理科)】
⑭	大学院研修研究報告	英語教育
⑰	大学院研修研究報告	授業改善
⑱	大学院研修研究報告	保健教育
⑳	大学院研修研究報告	特別支援教育〈感覚統合〉

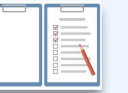
⑦	プロジェクト研究Ⅱ	理数教育2【中学校数学】
⑧	プロジェクト研究Ⅱ	ICT活用【小学校社会】
⑪	個人研究	学校事務
⑫	実践報告	奈良県小学校特別活動研究会
⑨	プロジェクト研究Ⅲ	教育相談 後半
⑩	プロジェクト研究Ⅳ	特別支援教育 後半
⑬	個人研究	教材・教具【高等学校英語】
⑮	大学院研修研究報告	防災教育
⑯	大学院研修研究報告	理科教育
⑲	大学院研修研究報告	特別支援教育〈書字支援〉
㉑	大学院研修研究報告	特別支援教育〈視覚支援〉

➤ 申込方法

参加申込みの際には、①～⑳の内、希望される番号を、別添の参加申込書にお書きください。
(全体会・前半・後半のみの参加も可能です。)

➤ アンケートのお願い

当日配布するアンケートへの御協力をお願いいたします。
(アンケート用紙は各会場にて回収します。)



2 プロジェクト研究Ⅰ **幼小接続**
遊びから主体的な学びへつなぐ幼小接続の在り方
幼小の接続期にふさわしい主体性の芽生えや表現力の育成に資する環境構成や、教師から子どもへの指導・援助の仕方について研究を行いました。その結果を基に、幼稚園から小学校にスムーズに学校生活に移行できるようこれからの教育・保育を共に考えます。(本研究は、2年継続研究の1年目です。)

8 プロジェクト研究Ⅱ **ICT活用【小学校社会】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
小学校社会科において、主体的・対話的で深い学びの実現のためにICTの特性・強みを生かした活用について研究を行いました。その成果と課題の報告を基に、授業におけるICT活用について共に考えます。

3 プロジェクト研究Ⅱ **言語活動の充実1【小学校国語】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの小学校国語科「読むこと」の授業づくりについて研究しました。「深い学びの過程」や「深い学びを見取る評価」を重点に取り組んだ研究結果を基に、これからの国語科の学びについて共に考えます。

9 プロジェクト研究Ⅲ **教育相談**
開発的教育相談の効果的な活用の在り方
～ストレスマネジメントを中心として～
ストレスは学校不応に至る原因の一つとされ、児童生徒のストレス軽減に向けた取組が求められています。そこで、ストレスマネジメントを中心とした開発的教育相談について、2年間研究を行いました。その内容と成果を報告し、開発的教育相談の活用の在り方について共に考えます。

13 個人研究 **教材・教具【高等学校英語】**
学習意欲を高める教材・教具
高等学校第1学年において、まず教科書を平易な語句を用いて書き換えたワークシートを用いて概要を理解させました。その後本文を学習しライティング活動を行いました。学習意欲を高めるリライト教材を用いた英語学習の取組を報告し共に考えます。

18 大学院研修研究報告 **保健教育**
小学校における自らストレスに対処する力の育成を目指した保健教育の取組
小学校高学年を対象に、自ら心身の健康問題を回避・軽減・解決することができるような力の育成を目的としたストレスマネジメント教育の学級指導プログラムを開発・実践しました。取り組んだプログラムの概要や結果、考察について報告します。

4 プロジェクト研究Ⅱ **言語活動の充実2【小学校外国語活動】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて思考・判断・表現する英語でのやり取り」が豊富になるような言語活動の工夫を行いました。伝え合う必然性のある場面の設定等について共に考えます。

10 プロジェクト研究Ⅳ **特別支援教育**
巡回指導における支援体制の在り方
～地域の特色に応じた通級指導教室の活用及び充実を目指して～
巡回指導に関わる地域の教育委員会や巡回指導実施校と連携を図り、巡回指導における支援体制の在り方について実践的研究を2地域で行いました。地域の特色に応じた通級指導教室担当者による巡回指導の成果と課題について報告し、多様な教育的ニーズに対応できる支援体制の在り方について共に考えます。

14 大学院研修研究報告 **英語教育**
高等学校英語科における協働的な授業改善の研究
～カリキュラムマネジメントの視点から～
英語科全体での協働のプロセスを通して、既存のCAN-DOリストを見直し改訂しました。また、新しいCAN-DOの達成を目指したスピーキングの取組、パフォーマンステストの導入、研究授業と事後研修会のサイクル、それを受けた授業改善など、英語科教員の変容について報告します。

19 大学院研修研究報告 **特別支援教育〈書字支援〉**
認知特性に応じた書字支援
～通常の学級における適切な児童の見立てと効果的な支援への活用～
書字困難を抱える児童について個々の認知特性・認知処理様式に応じた支援を行い、その効果を検討しました。通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた書字支援として、書字の特徴に関する評価を基にした実態把握の方法、認知特性・認知処理様式に応じた書字支援の方法と成果について報告します。

5 プロジェクト研究Ⅱ **言語活動の充実3【高等学校地理歴史】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
歴史的事象を多面的・多角的に考察することで、現代につながる諸課題に対して追究したり、解決したりする力が身に付き、主体的・対話的で深い学びの実現に効果があることについて研究を行いました。その成果と課題について報告し、これからの授業づくりについて共に考えます。

11 個人研究 **学校事務**
学校ホームページを活用した情報発信による地域連携の活性化
学校事務職員の職務規定の改正を受け、主体的に校務運営に参画するために、事務職員の専門性を生かして「開かれた学校づくり」に関する課題の解決につなげる研究を行いました。学校ホームページの充実を図り、地域連携を活性化する取組について報告し共に考えます。

15 大学院研修研究報告 **防災教育**
防災教育の協働的な立案についての研究
～コアチームでの活動を手がかりに～
高等学校における防災教育の取組に着目し、従来からの学級担任主導型から、各教科等の特徴や特性を活用した協働型の立案を行いました。複数教科にまたがる教員組織(コアチーム)を編成し、カリキュラム表の作成・実践・評価を行うことで得られた成果や課題について報告します。

20 大学院研修研究報告 **特別支援教育〈感覚統合〉**
幼児期から児童期における「不器用さ」へのアプローチ
～感覚統合の手法を用いた遊びを通して～
最近の子どもたちの不器用さに着目し、感覚統合を取り入れた活動を就学前の5歳児から小学校1年生への時期に介入して研究を行いました。感覚統合の手法を用いた遊びや活動を行った結果、どのように子どもが変化したかについて報告します。

6 プロジェクト研究Ⅱ **理数教育1【中学校理科】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
生徒が教師役となり主導していく授業(通称PIE)が、「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくりと関連が見られるという先行研究を基に、中学校理科におけるPIEの取組について研究を行いました。その結果について報告し、深い学びを実現するための授業の工夫について共に考えます。

12 個人研究 **教材・教具【高等学校探究科学(理科)】**
学習意欲を高める探究科学の評価について
探究的な学びは、これから更に重視されると考えます。生徒が研究テーマを決め探究活動を行う「探究科学」における、生徒の学習意欲を高める評価について研究しました。探究的な学びにおけるルーブリック作成や相互評価の取組について報告し共に考えます。

16 大学院研修研究報告 **理科教育**
小学校理科における問題解決能力育成を目指す研究
～理科授業設計マトリックスの開発と運用～
小学校理科において、児童が深く学ぶ授業を設計するために、目標と、必要となるレディネス・教師の支援の具体を示した表(理科授業設計マトリックス)を開発しました。これを用いた実践の具体と、その有用性や今後の活用について報告します。

21 大学院研修研究報告 **特別支援教育〈視覚支援〉**
小学校特別支援学級における効果的な指導の検討
～子どもの特性と視覚情報を中心に～
小学校特別支援学級に在籍する児童の特性に着目し、視覚支援の有効性についての検討を行いました。前半は、コミック会話的手法を主として行った支援の実践について、後半は特別支援学級に在籍の児童3名に行ったタブレットPCを活用した作文学習の実践からその有効性について報告します。

7 プロジェクト研究Ⅱ **理数教育2【中学校数学】**
「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業づくり
中学校数学科における「学びのつながり」を重視した授業づくりが、主体的・対話的で深い学びの実現に効果があるという仮説のもと研究を行いました。そこから見てきた課題と成果について報告し、アクティブ・ラーニングプランニングノートを利用した授業づくりについて共に考えます。

📄 パネル等の展示

奈良県立教育研究所のプロジェクト研究・個人研究の報告や各部・係の取組、奈良県教育委員会各課・室等の取組をまとめたパネル等を展示しています。

📄 パネル展示予定



- 【奈良県立教育研究所】
- ・教育経営部一教育企画係、研修企画係、学校教育支援係
 - ・研究開発部一教科教育係、ICT教育係
 - ・特別支援教育部一特別支援教育係

- 【奈良県教育委員会各課・室】
- ・教育振興大綱推進課
 - ・人権・地域教育課
 - ・保健体育課
 - ・教職員課
 - ・学校教育課
 - ・生徒指導支援室

- 【奈良県立施設】
- ・うだ・アニマルパーク
 - ・野外活動センター